



第166号

(昭和51年2月・3月)

目 次

学 長 告 辞	1
関 係 法 令	2
諸 会 議	2
人 事 異 動	3
学 内 諸 報	3
文理学部長の改選	3
教養部長の改選	3
附属図書館長の改選	3
教育学部附属学校長の改選	4
学位取得者	4
海外渡航者	4
訃 報	4
叙位・叙勲	5
富山大学職員の財産形成貯蓄関係事務取扱要項の 一部改正	5
学内レクリエーション	5
富山地区R連盟大会	6
職 員 消 息	6
主 要 日 誌	6

昭和50年度卒業式学長告辞

昭和50年度 学部卒業生、専攻科修了生並びに短期大学部卒業生諸君に、心からお祝いを申し上げます。

諸君は、青雲の志を抱き、笈を負って本学に学ぶこと幾星霜、ここに螢雪の功なり、高い教養と高度の学問技術を修得せられ、いよいよ明日より、変動苛烈なる実社会に出て活躍されるのでありますが、その前途洋々として光輝あることを祈念して止みません。

今日わが国が、政治、経済、教育、文化ともに戦後30年の老化に苦悩しているとき、国際的視野に立った改善にせまられています。

凡そ科学文明の急速な発達は、地球上の時間と空間とを縮少し、東洋の国々や西洋の諸国を問わず、国家国民が身近に共存する時代へと移行し、これがために、いまだかつてない国際的感覚が強く要求せられるようになりました。

即ちエネルギー資源、食糧、人口問題をはじめとし、環境保全、海洋利用の問題、その他地震、災害の研究、ガンなどの難病究明等、人類の生存上緊急の問題が山積し、一方技術開発によって生ずる弊害を予測評価することも強く要請されています。

これは地球上の全人類が、総力を挙げて取り組まねば解決し難い重要緊急の課題であります。

諸君は、日本人であると同時に、世界人として、世界全体のために思考し、行動することが肝要です。地球上の人類が相互に、各自のよきものを他に与え、他のよきものを自分にとり入れて、人類の平和と進歩を期すべきことは、すでに幾多の先輩たちが喝破しています。

日本と日本人を愛し、日本の自然と文化を愛するものこそ、真の国際人として世界の人類を愛し、人類の住む地球の自然を愛することができるのです。人類の永生を希うためにも、今こそ国際的日本人の育成に努力し、より高度な教養ある日本人の練成を図らねばならないときと存じます。

日本の美しい自然と、伝統ある文化のなかに生を享け、日本の情緒と品格をそなえ、世界一の教育環境に成人した諸君は、天地自然の恩を感じ、親の恩を想い、兄弟友人と仲良く交わる感謝の生活こそ大切であります。

人にして恩を感じざるものは人ではありません。

朝夕、豪壯雄大な立山を仰ぎながら大学生活を送ってきた諸君は、巖として大地に聳え立つ雄峯のごとく、いかなる逆境、いかなる困難や環境の変化にも動じない不動心をもって、毅然として進んでいただきたいものです。

「青山元不動 白雲自去来」する態度こそ肝要です。

いやしくも、いささかの社会的混乱に、生きる道を失うようなことがあってはなりません。

与えられた仕事に、私心を離れて没入努力するところに、生甲斐を見出し、奉仕の精神が生れてくるものと存じます。

希くは、健康に注意され、安定した21世紀をめざす先駆的役割を指向して、日常の生活に精進されんことをお願いして告辞といたします。

昭和51年3月19日

富山大学長 林 勝次

関係法令

(官報掲載月日)

政 令

- 義務教育諸学校等の女子教育職員及び医療施設、社会福祉施設等の看護婦、保母等の育児休業に関する法律施行令(34) 3・26
- 予算決算及び会計令の一部を改正する政令(40) 3・30
- 学校教育法施行令等の一部を改正する政令(42) 3・30
- 国立大学の附属の学校に関する政令の一部を改正する政令(45) 3・30
- 国立大学の大学院に置く研究科の名称及び課程を定める政令の一部を改正する政令(46) 3・30
- 所得税法施行令の一部を改正する政令(52) 3・31

省 令

- 国立学校設置法施行規則の一部を改正する省令(文部3) 2・20
- 学校保健法施行規則の一部を改正する省令(同6) 3・17
- 日本学校安全会法施行規則の一部を改正する省令(同9) 3・31
- 所得税法施行規則の一部を改正する省令(大蔵6) 3・31

規 則

- 管理職員等の範囲の一部を改正する規則(人事院17-0) 2・14
- 職員の保健及び安全保持の一部を改正する規則(同10-4) 3・17
- 規則の法的根拠の一部を改正する規則(同1-0) 3・24
- 用語の定義の一部を改正する規則(同1-2) 3・24
- 職員の任免の一部を改正する規則(同8-12) 3・24
- 職員の身分保障の一部を改正する規則(同11-4) 3・24
- 女子教育職員等の育児休業に関する規則(同11-7) 3・24

- 特殊勤務手当の一部を改正する規則(同9-30) 3・30
- 特地勤務手当等の一部を改正する規則(同9-55) 3・30

諸 会 議

昭和50年度第12回評議会(昭和51年2月13日)

〔報告事項〕

- (1) 昭和50年度富山大学大学院薬学研究科及び工学研究科(修士課程)第2次入学試験合格者の判定について

〔審議事項〕

- (1) 卒業式、入学式について
- (2) 昭和51年度富山大学学生募集要項及び富山大学案内の一部変更について(事後承認)
- (3) 学生教育研究災害傷害保険制度について
- (4) 昭和51年度富山大学文学専攻科、理学専攻科、経済学専攻科入学者選抜試験合格者の判定について

昭和50年度第13回評議会(昭和51年3月12日)

〔報告事項〕

- (1) 国大協第4常置委員会について
- (2) 昭和50年度富山大学大学院薬学研究科及び工学研究科(修士課程)修了者の認定について
- (3) 教官人事について(持ち回り審議)

〔審議事項〕

- (1) 教養部長候補者の選考について
- (2) 教官人事について(文理学部、教育学部)
- (3) 昭和50年度卒業及び修了者の認定について
- (4) 昭和51年度富山大学教育専攻科入学者選抜試験合格者の判定について(事後承認)
- (5) 入学試験の実施について

昭和50年度第14回評議会(昭和51年3月31日)

〔審議事項〕

- (1) 教官人事について(文理学部)
- (2) 昭和51年度富山大学入学者選抜試験合格者の判定について
- (3) 転入学について(工学部)
- (4) 富山大学学則の一部を改正する学則(案)について

人事異動

異動区分	発令年月日	氏名	発令前の所属官職	異動内容	発令者
採用	51. 3. 1	五嶋孝仁		講師(工学部)	富山大学長
	51. 3. 5	吉沢寿夫		文部技官(工学部)	"
昇任	51. 2. 18	根井仁三郎	助教授(工学部)	教授(工学部)	文部大臣
配置換	51. 3. 31	永野太亭阿希	庶務部人事課長	文部省大臣官房人事課付	文部大臣
併任	51. 2. 20	植村元覚	教授(経済学部)	附属図書館長(51.2.20~53.2.19)	文部大臣
事務取扱	51. 3. 31	山下彰三	庶務部長	庶務部人事課長事務取扱	文部大臣
辞職	51. 3. 31	羽根田芳久	文部事務官(経理部主計課)		富山大学長
	"	瀬岡吉彦	助教授(経済学部)		文部大臣
	"	堀田実	教諭(教育学部附属小学校)		富山大学長
	"	須山盛彰	"(教育学部附属中学校)		"
	"	田近恵子	"(")		"
	"	生田信之	"(")		"
"	魚躬正則	"(")		"	

学内諸報

文理学部長の改選

竹内豊三郎文理学部長の任期が昭和51年3月31日満了となるに伴い、文理学部教授会は2月26日次期学部長候補者の選挙を実施し、投票により手崎政男教授を選出した。

手崎教授は、昭和12年3月東京帝国大学文学部国文学科を卒業後、広島県立呉第二中学校教諭、東京都立石神井高等学校教諭を経て、同32年4月富山大学文理学部助教授、同40年8月同教授となり今日に至っている。

この間評議員として昭和43年12月から補欠の期間を含め通算8年余りを併任された。

専攻は国文学、富山県出身

教養部長の改選

杉本新平教養部長の任期が昭和51年3月31日に満了するため、教養部教授会は2月18日次期教養部長候補者の選挙を実施し、杉本新平現部長が再選され、3月12日評議会の

議を経て教養部長候補者に決定された。

杉本教授は、昭和21年9月京都帝国大学文学部哲学科を卒業、同21年11月金沢工業専門学校講師、同23年5月富山薬学専門学校講師、同26年3月富山大学文理学部講師、同32年4月同助教授、同42年4月教養部に配置換、同43年1月同教授に昇任し今日に至っている。

この間附属図書館商議員、附属図書館長、評議員を勤めた。

専門は倫理学、富山県出身

附属図書館長の改選

植村元覚附属図書館長の任期満了に伴う後任候補者の選挙は、1月16日開催の評議会において、かねて附属図書館商議会在が推薦した3候補の中から行われた。その結果、現職の植村元覚経済学部教授が再選され、2月20日付で就任した。

植村教授は、昭和14年3月京都帝国大学経済学部を卒業、同16年12月同文学部史学科を卒業。同21年10月富山高等学校講師、同24年5月同教授、同24年6月富山大学文理学部助教授、同28年8月同経済学部に配置換、同34年2月同教

授に昇任し今日に至っている。

この間経済学部長、評議員、附属図書館商議員、その他各種委員等を勤めた。

専門は経済地理学、経済学博士、富山県出身

教育学部附属小学校長の改選

教育学部附属小学校長（附属幼稚園長兼務）及び同附属中学校長の任期が3月31日で満了となるため、2月25日次期小学校長候補者の選挙を行った結果、附属小学校長に現職の山口政則教授が再選され、附属中学校長に小沢慎一郎教授が選出された。

山口教授は、昭和15年東京高等師範学校を卒業後、新潟県長岡女子師範学校教諭、新潟第一師範学校助教授、新潟県立長岡中学校教諭となり、同18年10月東京文理科大学に入学、同21年9月卒業後、富山師範学校助教授、富山大学教育学部助教授、同教授を経て現在に至っている。

専門は生物学、鹿児島県出身

小沢教授は、昭和9年富山県師範学校卒業後、富山県公立小学校訓導となり、同12年4月東京音楽学校に入学、同15年3月卒業後、富山師範学校教諭、同助教授、兼ねて富山大学教育学部助教授、富山大学教育学部助教授、同教授を経て現在に至っている。

専門は音楽科教育、富山県出身

学位取得者

取得者 文理学部 助手 常川 省三

取得学位 理学博士（九州大学）

取得年月日 昭和51年3月10日

学位論文 A Study on the Microwave Spectra and Molecular Structures of the Hydroxylamine and Hydrazine Molecules

海外渡航者

氏名	所属	官職	渡航の種類	渡航先国	目的	期間
山地 啓司	教育学部	講師	海外研修旅行	アメリカ合衆国、カナダ	トロント大学のDr. R. J. Shephard の指導の下で、有酸素的作業能（特に、肺拡散容量）に関する研究を行なうため（但し、トロントへの途中、Santa Barbara と Penstate 大学で研究打合せ）	51.3. 26 ～ 52.3. 25

訃報

名誉教授村中利吉逝去

富山大学名誉教授村中利吉氏は、急性肺炎のため2月16日逝去されました。

ここに謹んで哀悼の意を表します。

氏は、昭和8年6月大阪帝国大学工学部機械科を卒業、同9年日本曹達（株）会社に入社、日本特殊工業（株）会社、不二越鋼材工業（株）会社を経て、同21年8月高岡工業専門学校講師として着任、同23年3月同教授、同26年3月富山大学助教授、同29年12月同教授、同47年3月本学停年退職、同年4月本学名誉教授、同年同月福井工業大学教授となり、30年間にわたり教育、研究に従事。本学においては、工学部長、評議員等を、また学外においては、日本機

械学会、精機学会北陸支部役員、溶接学会北陸支部長、北陸工業専門学校長を歴任し、幾多の業績を残されました。

享年69才

教授根井仁三郎逝去

工学部教授根井仁三郎氏は、心臓麻痺のため2月19日自宅において急逝されました。

ここに謹んで哀悼の意を表します。

氏は、昭和17年9月大阪帝国大学工学部醸造学科を卒業、同22年11月から同37年3月まで若鶴酒造（株）会社に勤務、同年4月富山大学工学部講師として着任、同38年8月同助教授、同51年2月同教授に昇任、その間工業化学の教育、研究に従事、円満な人格と卓越した知識により幾多の英才を育成、また微生物工業の分野における研究は国内外に高く評価され、その功績は極めて顕著である。

享年57才

叙位・叙勲

故富山大学名誉教授 村中利吉
正四位に叙し勲三等瑞宝章を授ける

昭和51年3月5日 内閣

故工学部教授 根井仁三郎

正五位に叙し勲五等瑞宝章を授ける

昭和51年3月9日 内閣

富山大学職員の財産形成貯蓄関係事務取扱要項の一部改正

富山大学職員の財産形成貯蓄関係事務取扱要項（昭和47年11月20日制定）の一部を次のように改正する。

この要項中「または」を「又は」に、「あたり」を「当たり」に、「および」を「及び」に、「行ない」を「行い」に、「行なう」を「行う」に、「ならびに」を「並びに」に改める。

第2項第1号中「預貯金等（以下「預貯金等」という。）の預入、信託又は購入」を「預貯金等（保険料又は共済掛金を含む。以下「預貯金等」という。）の預入、信託、購入又は払込み」に改める。

第2項第3号中「財形貯蓄申出の期間及び預入開始日」を「財形貯蓄申出の期間及び預入等の開始日は、次のとおりとする。ただし、天引預入（払込）期間が終了する月の翌月から再び財形貯蓄契約を希望し、当該翌月から預入等をしようとする者は、天引預入（払込）期間の終了する月の10日までに申し出るものとする。」に、「預入開始日」を「預入等の開始日」に改める。

第2項第4号を次のように改める。

(4) 財形貯蓄の申込みは、大学が財形貯蓄に関して契約を締結している金融機関等（財形法第6条第2号に定める生命保険会社等を含む。以下「金融機関等」という。）のうちの1金融機関等の1店舗に限って行い、かつ、預貯金等の種類は1種類とする。ただし、天引預入（払込）期間終了後満期に到達するまでの間については、更に1金融機関等の1店舗に限って財形貯蓄契約の申込みができるものとする。この場合においても、預貯金等の種類は1種類とする。

第2項第5号を削る。

第3項中「財産形成貯蓄天引預入依頼書」を「財産形成貯蓄天引預入（払込）依頼書」に改める。

第8項第2号に次のただし書を加える。

ただし、天引預入（払込）期間が終了する月の翌月から引続き天引預入（払込）を行うために財形貯蓄契約の内容の変更等をしようとする場合は、天引預入（払込）期間の終了する月の10日までに申し出るものとする。

第11項中「教養部、附属図書館」を「教養部、附置研究所、附属図書館」に改める。

別紙様式1中「財産形成貯蓄天引預入依頼書」を「財産形成貯蓄天引預入（払込）依頼書」に、「天引して預入」を「天引して預入（払込）」に、「天引預入期間」を「天引預入（払込）期間」に、「預入時期及び金額」を「預入（払込）時期及び金額」に改める。

別紙様式2中「1回当たりの預入額」を「1回当たりの預入（払込）額」に、「天引預入開始日」を「天引預入（払込）開始日」に、「（預入期間）」を「（預入（払込）期間）」に改める。

附 則

この要項は、昭和51年3月25日から施行する。ただし、第11項の改正規定については、昭和49年6月7日から適用する。

学内レクリエーション

▶バドミントン大会

実施日時 2月21日（土）午後0時30分

場 所 新体育館

入 賞 優 勝 工学部チーム

次 勝 薬学・和漢研チーム

第3位 経済・図書・短大チーム

▶ボウリング大会

実施日時 2月28日（土）午後1時

場 所 とやまゴールデンボウル

入 賞 優 勝 松下 甚清（和漢研）

次 勝 藤野 広春（薬）

第3位 山田 知訓(教)
 H・G賞 荒谷 孝之(本)
 " 道寛 久雄(教養)

▶将棋大会

実施日時 3月13日(土)午後1時
 場 所 職員ホール
 入 賞 A級 優勝 能手 哲治(工)
 次 勝 高木 行則(本)
 B級 優勝 柏木 寛(薬)
 次 勝 丸山 珪一(教養)
 C級 優勝 松永 良成(工)
 次 勝 榎本 三郎(薬)

富山地区R連盟大会

▶囲碁大会

実施日時 3月6日(土)午後1時
 場 所 富山県民会館 705号室
 入 賞 本学入賞者なし

職 員 消 息

<新任者>

工 学 部

講 師 五嶋 孝仁

<住所変更>

文理学部

講 師 山崎 幸雄

文 部 技 官 松山 政夫

経済学部

講 師 坂口 正志

文 部 事 務 官 樋口 泰弘

工 学 部

助 教 授 島崎長一郎

講 師 小泉 邦雄

<住居表示変更>

教育学部

教 諭 毛利みち代

臨時用務員 松下 イト
 附属図書館
 文部事務官 滋野 康雄

主 要 日 誌

本 部

- 2月5～6日 臨時東海北陸地区国立大学事務局長会議
(於 福井大学)
- 12～21日 昭和51年度富山大学入学願書受付
- 13日 第12回評議会
第3回大学院委員会
- 16日 富山大学質量分析装置室運営委員会
- 20日 第8回事務協議会
- 21日 学内バドミントン大会
- 23日 国大協第4常置委員会(於 学士会分館)
昭和51年度文部省所管指定統計調査地方ブロッ
ク説明会(於 名古屋大学)
- 24日 第18回北陸四大学施設担当者協議会(於 富山
大学)
- 28日 学内ボーリング大会
- 3月2日 富山大学入学試験管理委員会
- 5日 富山電報電話局PBX自主管理講習会(於 地
鉄ビル)
- 11日 第9回事務協議会
- 12日 第4回大学院委員会
第13回評議会
- 13日 学内将棋大会
- 16日 文部省登山研修所運営委員会(於 国立教育会
館)
- 18日 富山大学大学院修了式
- 19日 富山大学卒業式
第10回事務協議会
- 23～25日 昭和51年度富山大学入学者選抜学力試験
- 25日 富山市医科薬科大学誘致期成同盟会(於 電気
ビル)
- 31日 第14回評議会

文 理 学 部

- 2月2日 学部改組について招へい講師との懇談会
 6日 文学専攻科, 理学専攻科入学者選抜試験
 7日 学部改組について招へい講師との懇談会
 10日 教授会
 文理学部長候補者選挙管理委員会
 12日 文理学部改組検討委員会
 17日 専攻科入学者選抜試験合格者発表
 文理学部教育実習委員会
 18日 文学科教官会議
 理学科教授懇談会
 選考委員会(哲学)
 20日 選考委員会(西洋史学)
 21日 各学科, 専攻科後学期授業終了
 25日 文学科教官会議
 学部改組について招へい講師との懇談会
 26日 教授会(次期文理学部長候補者選考)
 人事教授会
 真率会役員会
 3月1日 理学科教授懇談会
 3日 文学科教官会議
 文学科懇談会
 選考委員会(細胞生物学)
 9日 選考委員会(西洋史学)
 選考委員会(中国語・中国文学)
 10日 教授会
 人事教授会
 選考委員会(哲学)
 17日 入学者選抜試験打合せ会
 18日 教授会
 23~24日 入学者選抜試験
 30日 選考委員会(哲学)
 31日 教授会

教育学部

- 2月4日 人事教授会
 予算委員会
 5日 附属学校運営委員会
 6日 附属学校運営委員会
 附属小学校入学志願者抽選及び合格発表
 附属幼稚園入学志願者抽選及び合格発表
 8日 附属中学校入学者選抜試験(第1次)
 13日 附属中学校入学志願者抽選(第2次)及び合格発表

- 18日 教務委員会
 教授会
 21日 後学期授業終了
 23~28日 期末試験
 25日 職業補導委員会
 補導委員会
 教授会
 予算委員会
 人事教授会
 附属学校(園)長候補者選挙
 27日 附属学校運営委員会
 28日 教育専攻科入学者選抜試験
 3月3日 教務・補導合同委員会
 予算委員会
 教授会
 人事教授会
 8日 教育専攻科入学者合格発表
 11日 附属学校運営委員会
 12日 教務委員会
 補導委員会
 教授会
 教務・補導合同委員会
 15日 附属幼稚園卒業式
 16日 附属中学校卒業式
 人事教授会
 17日 附属幼稚園修業式
 入試説明会
 18日 附属小学校卒業式
 カリキュラム検討委員会
 19日 附属中学校修業式
 22日 附属小学校修業式
 23~24日 入学者選抜試験
 29日 人事教授会
 31日 教務・補導合同委員会
 教授会

経済学部

- 2月6日 第11回人事教授会
 第14回教務委員会
 7日 第11回教授会
 18日 第15回教務委員会
 第12回教授会

- 19日 後学期授業終了
 24日 学期末試験（3月4日まで）
 3月2日 第3回学部補導委員会
 4日 第16回教務委員会（持廻り）
 第4回学部施設整備委員会
 8日 入試調査書審査
 10日 第17回教務委員会
 第13回教授会（卒業認定）
 17日 学生懸賞論文入賞者授賞式
 19日 卒業生を送る会
 23～24日 入学者選抜試験（於 富山中部高等学校）
 31日 第18回教務委員会
 第14回教授会

薬学部

- 2月3～4日 大学院薬学研究科第2次入学者選抜試験
 4日 薬学研究科委員会（入試合格判定）
 14日 後学期授業終了
 薬窓会幹事会
 18日 教務委員会
 教授会
 24～25日 修上論文発表会
 3月1日 予餞会
 10日 教授会
 薬学研究科委員会
 15日 教授会
 人事教授会
 17日 教授会
 23日 教務委員会
 24日 予算委員会
 教授会
 31日 教授会

工学部

- 2月3～4日 工学研究科入学者選抜試験
 6日 服務関係事務調査
 10日 会計事務内部監査
 研究科委員会
 専任教授会

- 17日 専任教授会
 25日 専任教授会
 3月10日 一般教授会
 研究科委員会
 専任教授会
 17日 入試説明会
 専任教授会
 18日 学位授与式
 23～24日 入学者選抜試験
 31日 一般教授会
 専任教授会

教養部

- 2月3日 教務委員会
 会計事務内部監査
 4日 視聴覚教室準備委員会
 教授会
 6日 選挙管理委員会
 9日 視聴覚教室準備委員会
 18日 教授会
 25日 教養部改革小委員会
 3月2日 補導委員会
 9日 教務委員会
 10日 教授会
 教授のみの教授会
 11日 教養部改革小委員会
 13日 教養部改革小委員会
 24日 教務委員会

和漢薬研究所

- 2月4日 研究科委員会（於 薬学部）
 5日 第16回教授会
 6日 会計事務内部監査
 17日 和漢薬シンポジウム打合せ会（於 東京パレス
 ホテル）
 23日 研究所研究特別推進費に関する打合せ会
 第17回教授会
 和漢薬シンポジウム打合せ会
 3月10日 研究科委員会（於 薬学部）
 13日 和漢薬シンポジウム打合せ会

- 16日 第18回教授会
 24日 第19回教授会
 和漢薬シンポジウム打合せ会

附属図書館

- 2月10日 会計事務内部監査
 国立国会図書館長と大学図書館長との懇談会
 (於 国立国会図書館)
 3月15日 事務打合せ会
 26日 事務打合せ会
 富山県図書館協会大学・高専部会 (於 富山
 商船高等専門学校)

経営短期大学部

- 2月2～7日 後学期末試験
 10日 教授会(第14回)
 12～21日 入学願書受付
 21日 学生教職員懇談会
 26日 推薦入学志願者選抜試験
 27日 教授会(第15回)
 3月2日 調査書審査委員会
 4日 編入学志願者書類審査
 教授会(第16回)
 6日 入学志願者健康診断書審査
 8日 編入学者志願者選考検査
 14日 入学志願者選抜試験
 15～16日 採点
 17日 教授会(第17回)
 入学者選抜試験合格者発表
 19日 卒業式

訂 正

学報第165号(昭和50年12月・51年1月)の一部を次のよ
 うに訂正します。

誤 正

- P 4 左側5行中 Ving logous Vinylogous
 P 5 右側15行中 第13回人事教授会 第10回人事教授会

編集 富山大学庶務部庶務課
富山市五福3190
印刷所 第一共同印刷株式会社
富山市太郎丸1220-1
電話 ㊦ 0196(代)